

らぶらす

ライブラリーニュース Vol.29



コミック、コミックエッセイを集めた書棚です

世界を描く、関係を描き出す～コミック、コミックエッセイ～

ページを開くと一足飛びに未知の世界へ入り込める。そんな、絵の力でストーリーを進めるコミックで主人公の人生を追いかけたり、困難な状況も笑いを交えて描くコミックエッセイにほっとしたり。コミックやコミックエッセイは、関心のあることについてわかりやすく要点を掴みたいときや、課題や周辺の事情を把握したいときなどに最適の形式です。らぶらすでは、女性の生き方や働き方、子育て、こころとからだのあり方や、セクシュアル・マイノリティ関連など、約250冊のコミックやコミックエッセイに加え、コミック作品に関する評論なども所蔵しています。知りたいことがあるときに、一般書を読むと同時に、同じ分野のコミックやコミックエッセイを一冊、手にとることをおすすめします。

『ウーマン・イン・バトル

自由・平等・シスターフッド!』

マルタ・ブレン 文/イェニー・ヨルダグ 絵
合同出版



ノルウェーの作家による児童向けマンガ。19世紀、奴隷制度に反対する会議でカーテンの後ろへ追いやられた女性たち。彼女らが創設した女性参政権を求める協会には、奴隷解放を求める女性が参加するなど、女性の権利獲得運動の歴史を辿る。

『そして(彼)は(彼女)になった

安富教授と困った仲間たち』

細川 紹々 著
集英社インターナショナル



“家族という小さな世界の大きな問題”に立ち向かうふうちゃんとやっくん。家族関係のしんどさと二人が友となる道のりを追うコミックエッセイ。『ツゲウツになりまして。』で知られ『それでも母が大好きです』で自身をモデルにした著者が描く。

『少女マンガジェンダー表象論

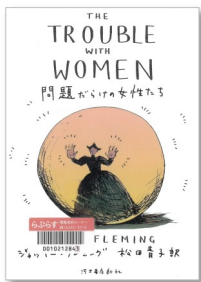
〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ』

押山 美知子 著
アルファベータブックス



手塚治虫の『リボンの騎士』をはじめとする、〈男装の少女〉をヒロインとする作品論。『ベルサイユのばら』『少女革命ウテナ』などにおける性別や性役割に囚われないキャラクターの「性別越境」を分析する。増補版に新章を書き下ろした新增補版。

[コミック、コミックエッセイに関連する図書・資料]



『問題だらけの女性たち』
ジャッキー・フレミング 著
河出書房新社



『やめてみた。』
わたなべ ほん 著
幻冬舎



『埋系パパ』
高世 えり子 著
マイナビ出版



『なかま通信』
No.57 2019.10.31
フェミニストセラピー“なかま”

利用案内

らぶらす資料コーナー（ライブラリー）へようこそ！

- ◆らぶらす資料コーナーでは、およそ2万点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。
- ◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です（AV資料1週間まで）。
- ◆貸出中の場合は予約ができます。◆らぶらすのホームページから図書・資料が検索可能です。

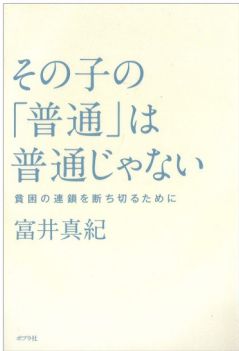
らぶらす開館時間 9：00-22：00

図書貸出時間 9：00-21：30

休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合はその翌日）及び年末年始



新着図書から



『その子の「普通」は普通じゃない 貧困の連鎖を断ち切るために』

富井 真紀 著
ポプラ社

貧困ゆえに教育を受ける機会を与えられず、低学歴ゆえに低収入の仕事にしか就けない。家族を持ち親となっても、その子どももまた、学ぶ機会どころか十分な愛情さえ与えられず、苦労の中でもがきながらおとなになる。そんな負の連鎖から抜け出し、支援する側へ。著者がたどった人生を綴り、宮崎で立ち上げたNPO法人の事業を紹介する。

貧困×家族



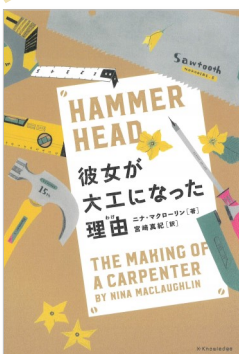
『東京貧困女子。 彼女たちはなぜ 躓いたのか。』

中村 淳彦 著
東洋経済新報社



『貧困専業主婦』

周 燕飛 著
新潮社



『彼女が大工になった理由（わけ）』

ニナ・マクローリン 著
エクスナレッジ

30代に近づき天職だと思っていた仕事に疑問を持つ中で、著者は「大工見習い、女性の応募を待つ」という求人広告を見つけ大工見習いとなる。信頼できる師匠の元、自分とは？人生とは？と問いながら仕事に励み、失敗しては再挑戦し、よいものを作ろうとする自分に満足を感じる。新たな自分を見つきたい人へのヒントになる一冊。

女性×仕事



『女医問題ぶった斬り！ 女性減点入試の 真犯人』

筒井 富美 著
光文社



『自分で「始めた」 女たち』

グレース・ボニー 著
海と月社



『明るい不登校 創造性は「学校」外でひらく』

奥地 圭子 著
NHK出版

著者は1985年、子どもの不登校から、居場所としてフリースクール「東京シュール」を開設し、現在理事長を務める。その後も日本で年々不登校が増したことは、子どもたちと学校制度の間のミスマッチと、それを生じさせている社会の問題なのだ、と断じる。不登校の子どもたちの、周りの大人に読んでほしい本。

不登校
×
生き方



『学校を長期欠席する 子どもたち』

保坂 亨 著
明石書店



『生きづらさを抱える きみへ』

withnews編集部 著
KKベストセラーズ

絵本

『女と男のちがって?』

ブランテルグループ 文ノルシ・グティエレス 絵
あかね書房



女と男のちがいはからだのつくりだけ。なのになぜ、ぜんぜんちがうと思われているのだろう。「らしさ」から脱するために一番いいのは教育の改革。この社会の明日を作っていく私たちが、シニカルな絵と一緒に考えてみるための絵本。

コミックス

『はじめてフィンランド ～白夜と極夜 ひとり旅～』

トナカイワサコ 著
河出書房新社



夏は白夜の首都ヘルシンキ、冬にはオーロラを目指して陽の昇らない極夜のラップランドへひとり旅。日本人には馴染みの薄い北欧の食や暮らし、自然と文化を紹介する。懇親の場・サウナやサンタクロースとの会話などリアルな体験記。

DVD

『未来を花束にして』

サラ・ガロン監督
2015年 イギリス



政治に参加する権利、職業選択の自由…。今では当たり前のことが、かつて男性だけのものだった。100年前のイギリスの平凡な主婦が、あるきっかけから「女性の生き方」に疑問を持ち、目覚め、夢を勝ち取るために闘った真実の物語。

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす
〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3階
TEL: 03-6450-8510 FAX: 03-6450-8511
ホームページ <http://www.laplace-setagaya.net/>

次号は2020年3月
発行予定です



らぶらすHP



Facebook



Twitter